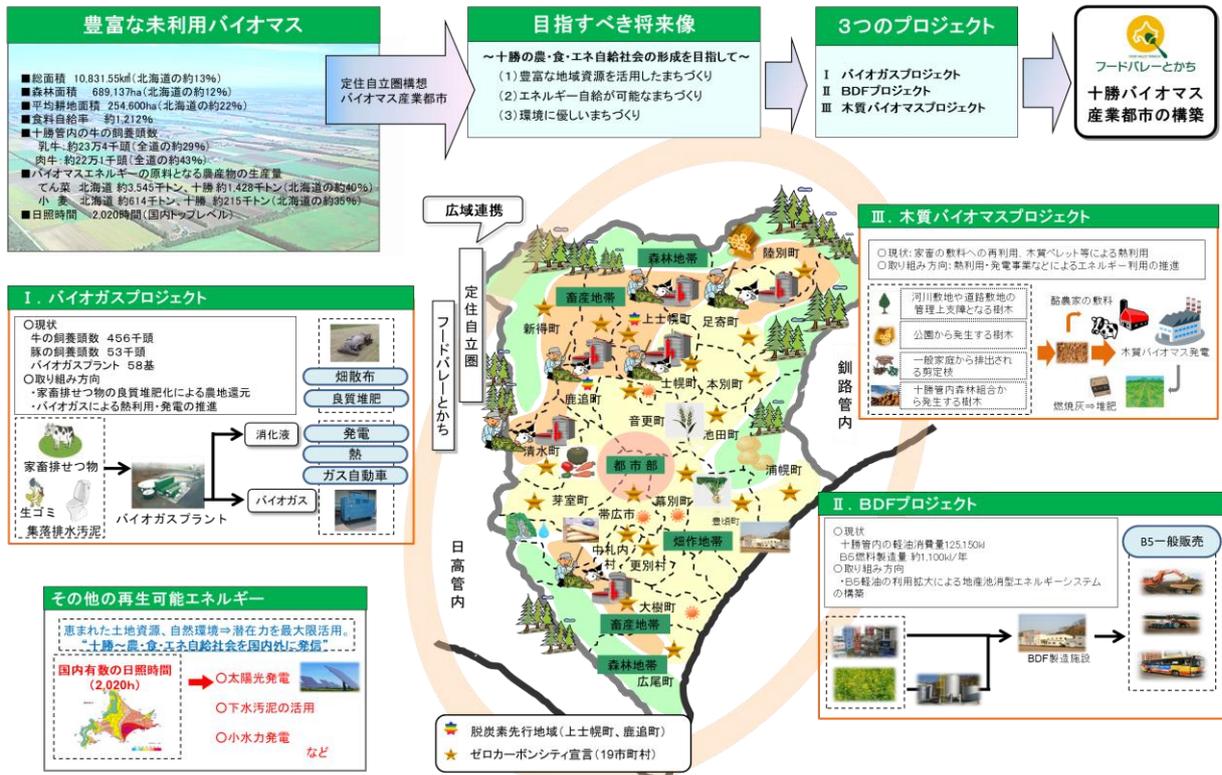


北海道清水町

住所	〒089-0192 北海道上川郡清水町南4条2-2
町長	辻 康裕
HP	https://www.town.shimizu.hokkaido.jp/
バイオマス産業都市選定年度	2013年度 第1次 (十勝19市町村の1つとして選定)
バイオマス産業都市構想	https://www.maff.go.jp/j/shokusan/biomass/b_san_gyo_toshi/attach/pdf/h25-1sentei_kousou-14.pdf
担当部署	農林課
連絡先 TEL	0156-62-2112
連絡先 E-mail	c hikusan2@town.shimizu.hokkaido.jp

地域循環型エネルギーシステムの構築 ~フードバレーとかちの実現をめざして~



I 事業化プロジェクト

表 1 プロジェクト一覧表

項目	名称	現状
プロジェクト 1	バイオガスプロジェクト 1	実施中
プロジェクト 2	バイオガスプロジェクト 2	実施中
プロジェクト 3	バイオガスプロジェクト 3	実施中

プロジェクト No.1	バイオガスプロジェクト 1		
実施主体	(株)富樫牧場		
利用する技術	<input checked="" type="checkbox"/> メタン発酵バイオガス発電		
実施体制	プラントメーカー	コーンズ・アンド・カンパニー・リミテッド	
	設計・施工業者	コーンズ・アンド・カンパニー・リミテッド	
	その他	コーンズ・アンド・カンパニー・リミテッド	
概要	家畜ふん尿を主原料とし、メタン発酵を経て発電及び生成液肥、再生敷料を自家消費で活用を行う。		
内容	項目	計画値	実績値 (2023 年度)
	原料：ふん尿 利用量(t/年)	4,401	4,745
	原料：敷料等 利用量(t/年)	361	350
	発電量(kwh/年)	181,000	200,750
	FIT/FIP の適用	<input checked="" type="checkbox"/> FIT <input type="checkbox"/> FIP <input type="checkbox"/> FIT/FIP 適用外	
	堆肥生産量(t/年)		500
	バイオ液肥生産量(t/年)	4,160	5,580

プロジェクト No.2	バイオガスプロジェクト 2		
実施主体	(株)御影バイオエナジー		
HP	https://nobels.co.jp/company/office/bioenergy/		
利用する技術	☑メタン発酵バイオガス発電		
実施体制	プラントメーカー	(株)土谷特殊農機具製作所	
	設計・施工業者	(株)土谷特殊農機具製作所	
	その他	(株)土谷特殊農機具製作所	
概要	牛ふんを主原料としたメタン発酵を行い、得たガスで発電し売電する。発生した消化液については特殊肥料として販売する。また、再生敷料を自グループで活用を行う。		
内容	項目	計画値	実績値 (2023年度)
	原料：ふん尿 利用量(t/年)	73,000	87,000
	原料：敷料等 利用量(t/年)	15,841	8,760
	発電量(kwh/年)	5,514,750	5,211,033
	FIT/FIP の適用	☑FIT ☐FIP ☐FIT/FIP 適用外	
	バイオ液肥生産量(t/年)	85,260	87,772

プロジェクト No.3	バイオガスプロジェクト 3		
実施主体	十勝清水バイオマスエネルギー(株)		
HP	https://enecoop.sapporo.coop/special/268/		
利用する技術	☑メタン発酵バイオガス発電		
実施体制	プラントメーカー	前澤工業株式会社	
	設計・施工業者	前澤工業株式会社	
	その他	前澤工業株式会社	
概要	牛ふんを主原料としたメタン発酵を行い、得たガスで発電し売電する。発生した消化液については特殊肥料として販売する。		
内容	項目	計画値	実績値 (R5年度)
	原料：ふん尿 利用量(t/年)	52,195	57,413
	原料：敷料等		

利用量(t/年)	4,818	1,700
発電量(kwh/年)	4,327,000	4,001,374
FIT/FIP の適用	<input checked="" type="checkbox"/> FIT <input type="checkbox"/> FIP <input type="checkbox"/> FIT/FIP 適用外	
堆肥生産量(t/年)	—	8,868
バイオ液肥生産量(t/年)	46,793	46,237



美曼バイオガスプラント

前澤工業(株)HPより <https://www.maezawa.co.jp/ja/product/biogas/forte/achievement-5.html>

II 脱炭素化の取組状況や取組方針

II-1 地域における脱炭素に関する計画について

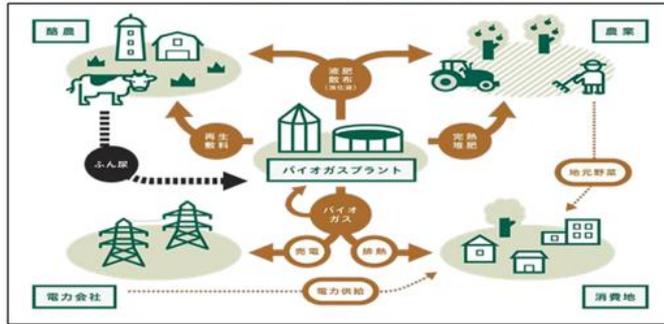
計画名称等	策定年度 (選定年度)	策定中の場合 策定予定の年度
地方公共団体実行計画 (区域施策編)		2024年度
ゼロカーボンシティ宣言	2021年度 https://www.town.shimizu.hokkaido.jp/living/04/details/post_13.html	
その他 清水町地域再エネ導入戦略	2023年度 https://www.town.shimizu.hokkaido.jp/plans/02/files/42758f47dcb5bd0f9eec86b10e8674d8.pdf	

II-2 地域における脱炭素化に関する取組の概要

- ・公共施設において照明のLED化を進め、省エネ対策を進めている。併せて、電力消費が大きい施設を念頭に太陽光発電の導入を検討している。
- ・民間における脱炭素への取組を普及させるため、家庭での太陽光発電システムの導入補助を行うとともに地球温暖化対策の必要性など普及啓発に努めている。
- ・二酸化炭素の吸収源となる本町の森林資源を維持と都市圏との連携を図る目的で、Jクレジット制度を活用していく。

II-3 2030年度までに目指す地域における脱炭素化実現のイメージ





バイオガスプラントを利用した電気・熱の有効利用